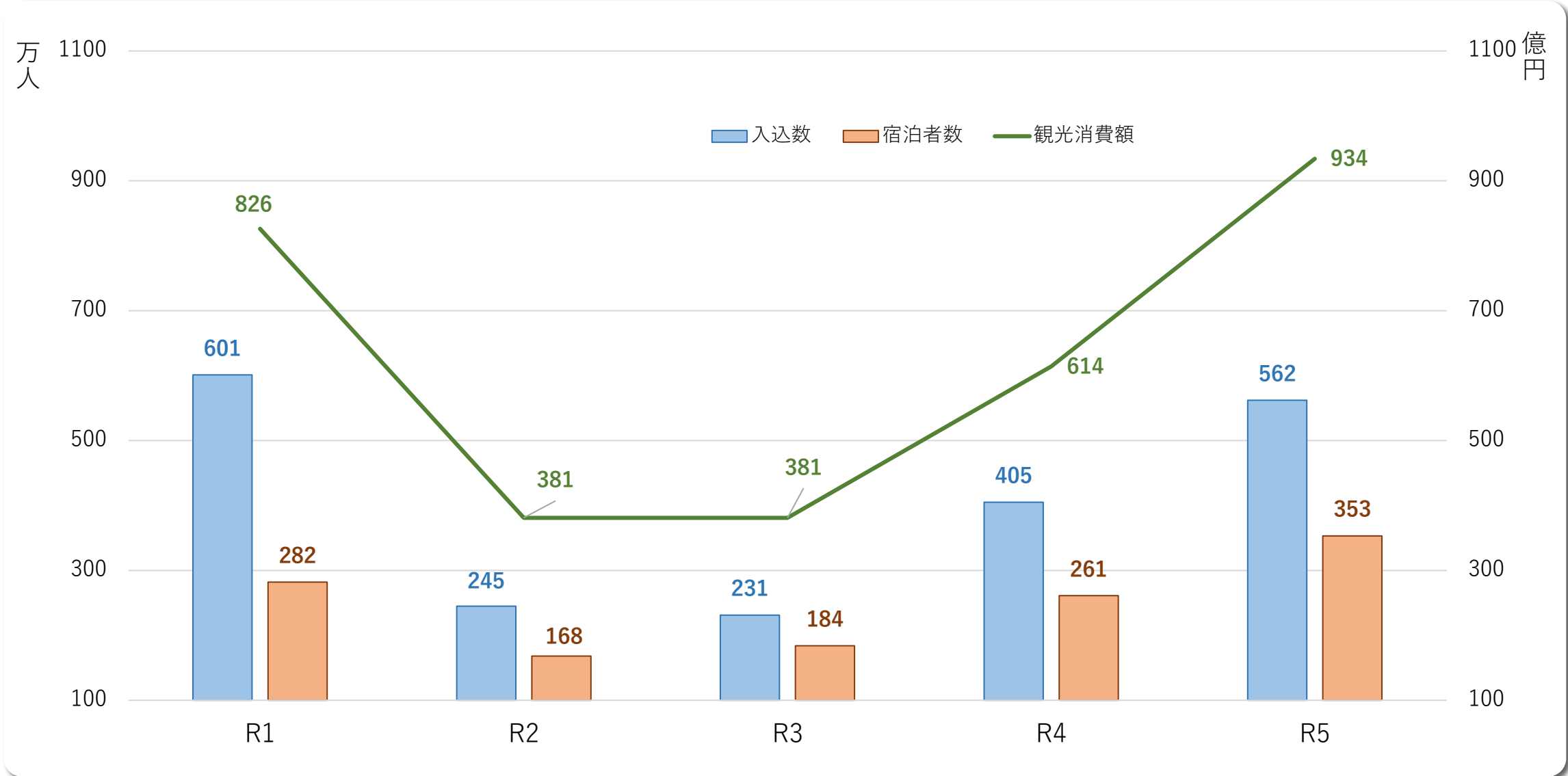


【概要】観光政策課

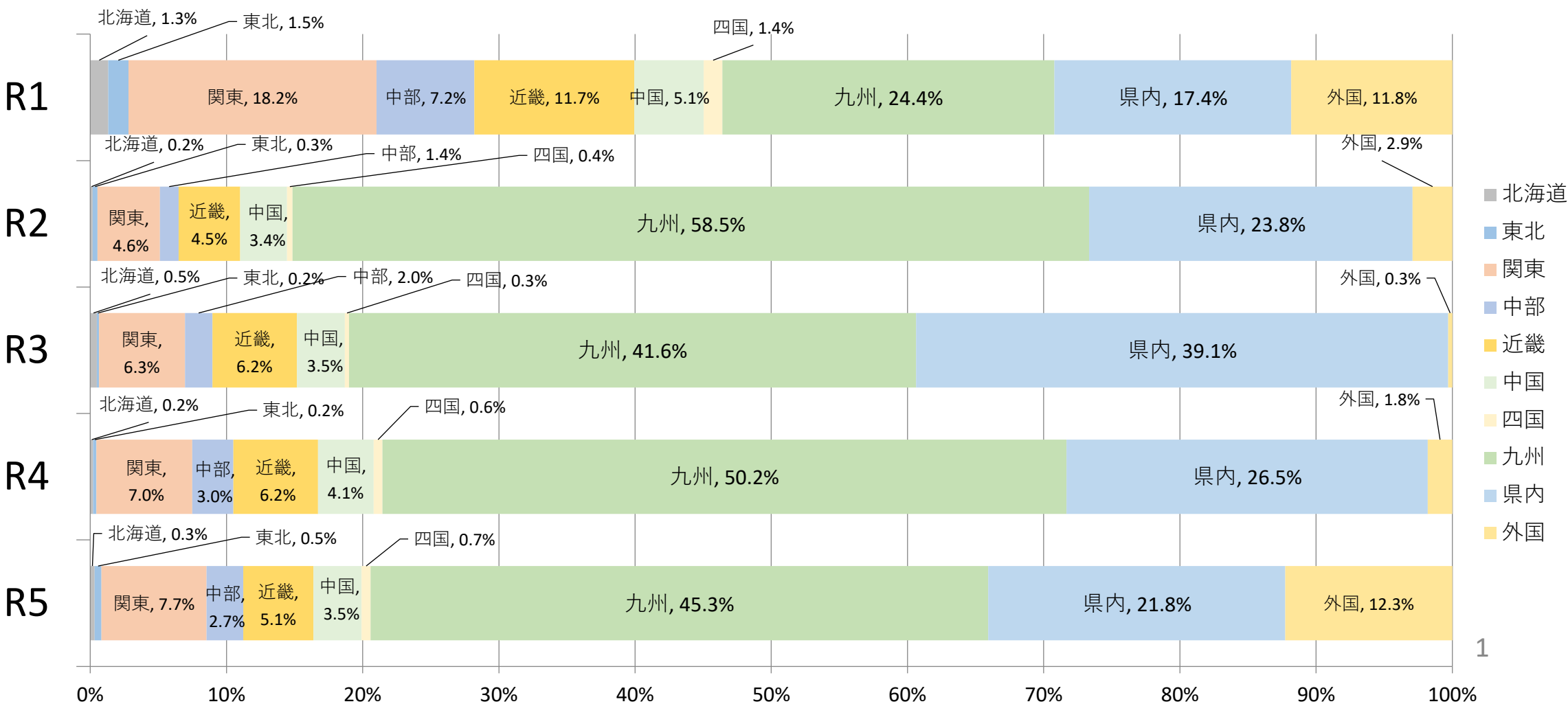
令和5年（2023年）は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による旅行需要の急速な回復、熊本空港の国際線定期便運航再開や、世界マスターズ水泳選手権2023九州大会、熊本マスターズジャパン2023、くま博2023の開催等により、観光消費額、宿泊者数、入込数ともに前年を大幅に上回る結果となった。特に、**観光消費額と宿泊者数**については、コロナ禍前の令和元年（2019年）を上回り、**過去最高を記録**した。

・観光消費額	R5：934億円（R4：614億円）	R4比 52.1％増	R1比 13.1％増
・宿泊者数	R5：353万人（R4：261万人）	R4比 35.4％増	R1比 25.3％増
・入込数	R5：562万人（R4：405万人）	R4比 38.8％増	R1比 6.5％減



【地区別観光客入込の状況】

R 5	①九州45.3%	②県内21.8%	③関東 7.7%
R 4	①九州50.2%	②県内26.5%	③関東 7.0%
R 3	①九州41.6%	②県内39.1%	③関東 6.3%
R 2	①九州58.5%	②県内23.8%	③関東 4.6%
R 1	①九州24.4%	②関東18.2%	③県内17.4%



【外国人観光客の推移】

外国人観光客については、令和5年（2023年）5月に国の水際対策が終了し、全国的にインバウンド需要が急速に回復する中、9月に熊本と台北を結ぶ定期便が就航したこと等により、**外国人宿泊者数**は前年比約9.2倍の43.4万人で**過去最高を記録**、入込数も前年比約9.5倍の69万人となった。

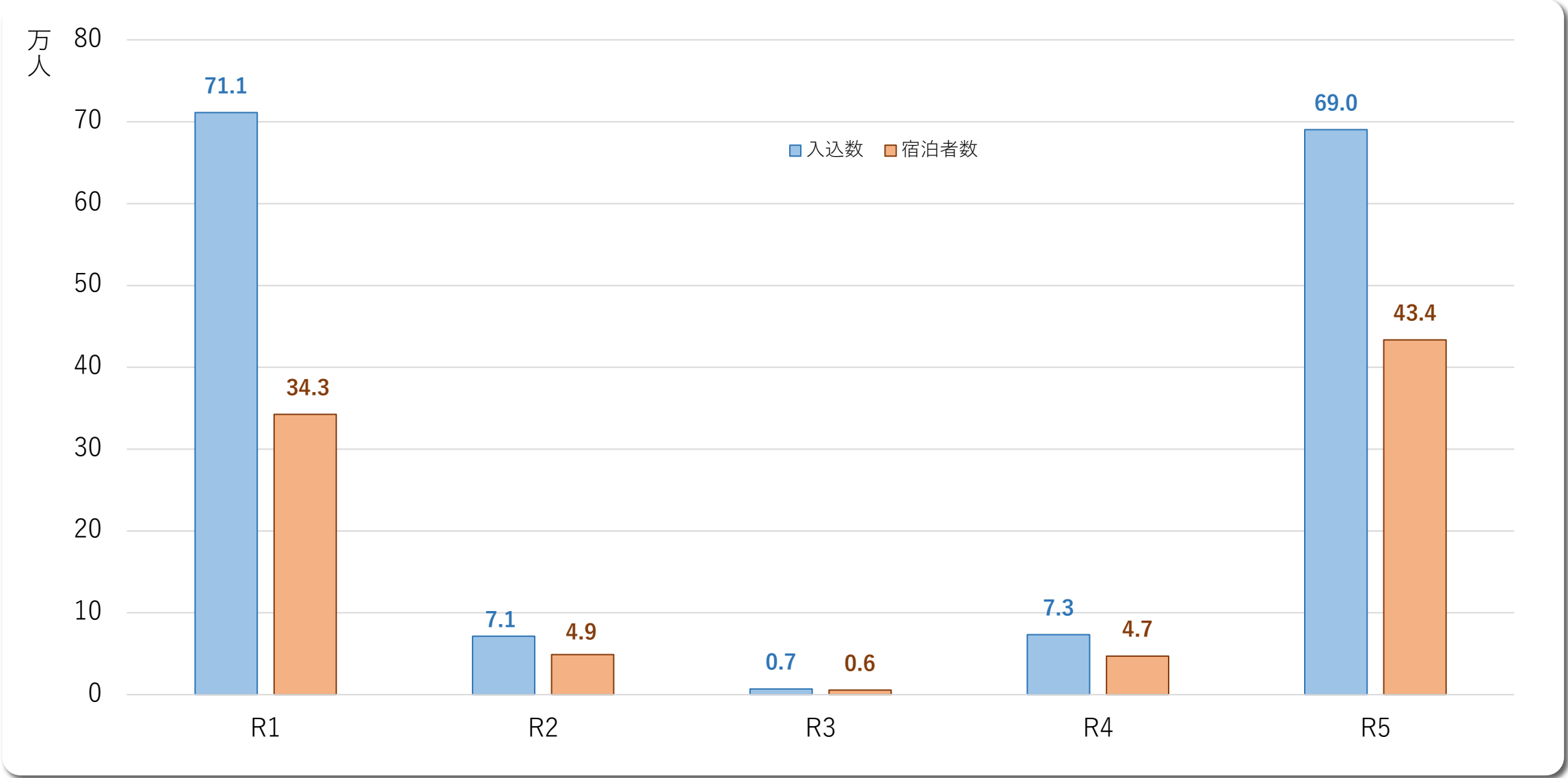
- ・ 宿泊者数

R5：43.4万人（R4：4.7万人）
- ・ 入込数

R5：69.0万人（R4：7.3万人）
- R4比 818.2%増

R1比 26.5%増
- R4比 841.5%増

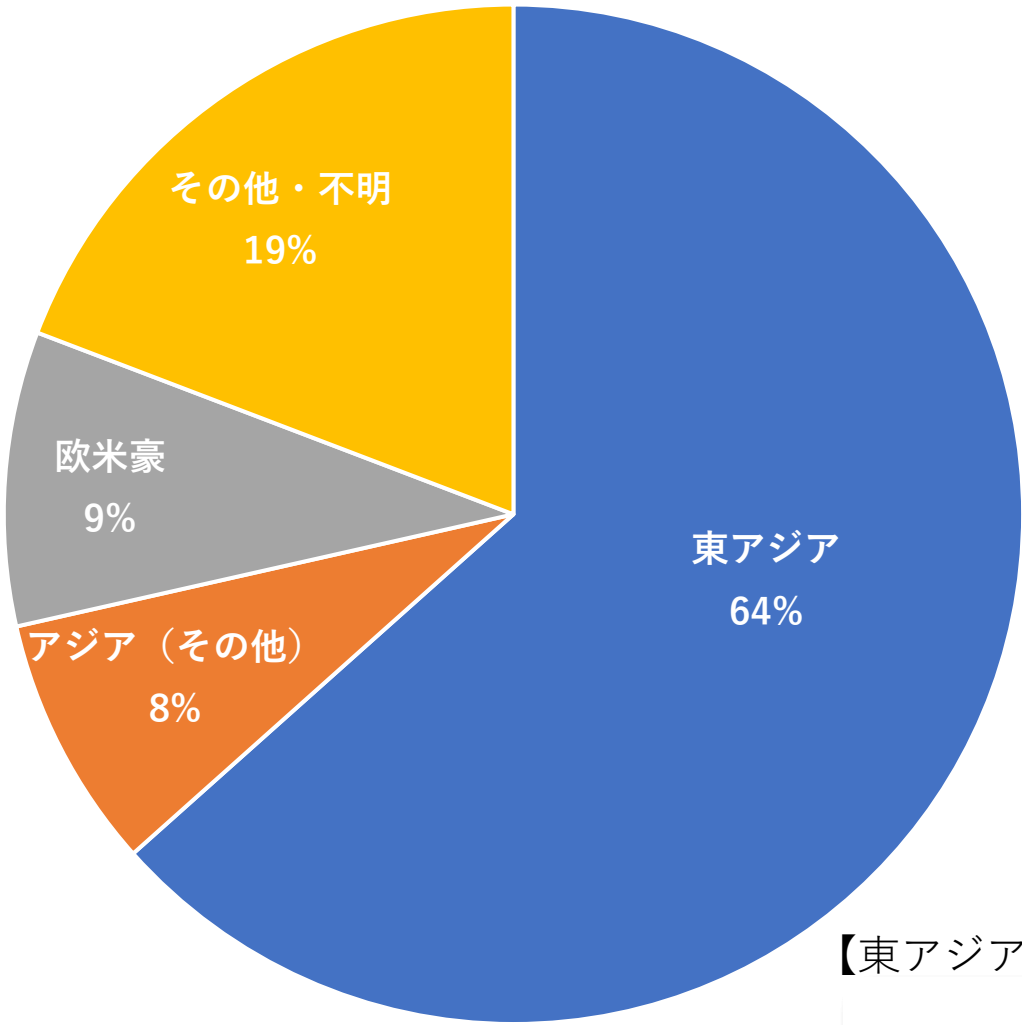
R1比 2.9%減



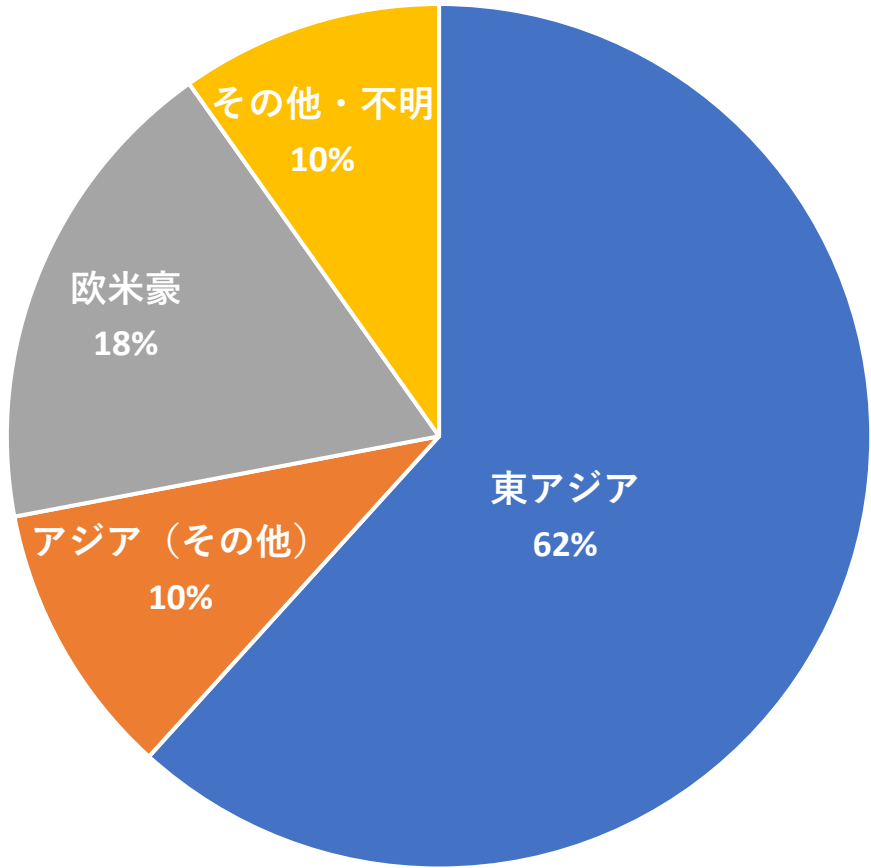
【外国人宿泊者数の地域別割合】

R 5 (宿泊者数:43.4万人)

R 1 (宿泊者数:34.3万人)



9.1 万人増



【東アジア4か国の国別宿泊者数】

